

第3回 JiPFA フォーラム開催挨拶（上級審議役：佐藤正）

「JICA 食と農の協働プラットフォーム：JiPFA（ジプファ）」の会員の皆様方におかれましては、コロナ禍の中でも、弊機構の事業にご協力いただき、国際協力の推進にご尽力いただいていることに、心から御礼申し上げます。

JiPFA は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた活動を促進するための、日本の産官学関係者のゆるやかなネットワークとして、2019年4月に設置されました。

1年目は直接顔を合わせる形で多くの分科会が開催でき、また途上国の現場を訪問することで共同活動が進んだ事例もありました。

残念ながら2年目からは、コロナ禍により大きな制約を受けていますが、そうした中でもオンラインでの会議開催などにより、活動を進めてまいりました。

「第3回 JiPFA フォーラム」では、前回2020年7月に開催した第2回 JiPFA フォーラム以降の実績や、今後の計画・方針について、ご報告します。

併せて、最近の JICA の取組について、コロナ禍での事業実施状況、国際取組、そして今後の事業戦略をご紹介します。

特に2021年には「東京栄養サミット」が開催されましたが、JICA としても「栄養宣言」を発表し、世界の栄養問題への貢献の姿勢を新たにしました。

また、課題別事業戦略グローバル・アジェンダをとりまとめ、2022年度からは次期中期計画のもと、“協働・共創による開発インパクトの最大化”に向けて取り組んでまいります。

食と農の取組に関する最近の状況と今後の方向性について、皆様と共有し、一緒に考える機会としたいと思います。